

第 1 回 第 5 期栗東市障がい福祉計画策定委員会 会議録要旨

日時・場所	平成 29 年 7 月 18 日（水）13:30 より 栗東市役所 2 階第 1 会議室
出席委員	村井龍治委員、原和子委員、河村一昭委員、大屋和代委員、仲川久子委員、 太田珠美委員、黒木稔委員、黒田元吾委員、大角實委員、長谷川すみ子委 員、林博之委員、稲田晃一委員、小西文子委員
欠席委員	無
事 務 局	市長、福祉部長、障がい福祉課長、障がい福祉課長補佐、障がい福祉係主 幹
オブザーバー	(株)日本開発研究所三重
傍 聴 者	無
事 項	1. 開会、あいさつ 2. 委員委嘱 3. 委員長・副委員長選任、あいさつ 4. 策定スケジュールについて 5. 計画策定、見直しの趣旨について 6. 第 4 期計画の目標値と実績値の状況について 7. 障がい福祉サービス等についての意見交換 8. その他

1. 開会、市長あいさつ

2. 委員委嘱

- ・委員を代表して村井委員に、野村市長から委嘱状の交付を行った。
- ・その他委員については、委嘱状を机上交付した。

3. 委員長・副委員長選任、あいさつ

- ・委員長には村井委員、副委員長には黒田委員が推薦され、承認される。
- ・委員長席に村井委員、副委員長席に黒田委員がそれぞれ移動し、就任の挨拶を行っ
た。
- ・ここで、市長は公務のため退席した。

4. 策定スケジュールについて

- ・事務局より資料に基づき説明を行った。

【意見等】特になし

5. 計画策定、見直しの趣旨について

- ・事務局より資料に基づき説明を行った。

【意見等】 特になし

6. 第4期計画の目標値と実績値の状況について

- ・事務局より資料に基づき説明を行った。

(H29年度の実績値については、5月末日現在の調査数値)

【主な意見】

委員：表の見方が分かりにくいので、サービス毎の計画値に対して実績がどうであったかをもっと観やすくすべきである。

委員：資源が無くて利用が伸びていないのか、必要性が無くて伸びていないのか分かりにくい、実態はどうなのか。

事務局：今回は、表にあらわしたのみであり、計画書にはコメントを入れていきます。事業所不足は自立支援協議会の中でも本市の課題として指摘されており、4市の区域内ではサービス事業所の所在に偏りもみられ、特に生活介護は少ないといわれています。

委員：アンケートの実施に関して計画との整合性が大事だが、どのような内容で実施されるのか。

事務局：アンケートについては、前回とほぼ同じ内容としていますが、そこでは現状や将来の意向は問うこととしているので、計画に反映させていきます。今回の見直しでは、障がい児の状況を把握して、計画するように国から示されている。回答に際し、その属性が把握できるようにしています。

委員：サービスを使うとする根拠が何処にあるか、計画値設定の根拠として何を用いているかが説明できるようにすべき。

事務局：アンケート調査のどれを反映したということは説明しづらい。実際の利用ではサービスを提供している事業所があり、そうしたことから前回では、事業者・団体にヒアリングをして実態に近づけようとしていました。自立支援協議会には、相談支援機関、事業者や学校関係者も入っているので、そこから出ている意見は加味していきたいと考えています。

7. 障がい福祉サービス等についての意見交換

【主な意見】

委員：放課後等デイサービスは事業所が増えてきているが、障がい者が利用する事業所の数は市内では増えていないとされている。実際、親が感じているサービス不足への対応をしてほしい。進路の課題も深刻だ。市内に事業所ができるよう、何

らかの対策を。

事務局：法人が事業所を開設するには、土地の確保、建設費用の確保などの課題がある。

市に相談があるが簡単には応えられない。何か新たに手当てができればとは思いますが、また、その他には人材不足の課題があるのかと思います。

委員：借地で賃貸物件で作業所を開設している。事業所の当初開設にかかる改修経費や人件費は借入金でまかなっており返済もあって、残るお金は少ない。養護学校から1.2年生の見学を求められるが、見学はできても、定員一杯で受け入れはできない。要望に応えたいと、事業所拡大の考えはあるが市の支援が必要。

事務局：施設整備に市の支援がということですが、他市でできて、栗東ではできないこともある。本市単独での財政的支援は難しい。

委員：障がいを持つ方と向き合い資源不足は直接聞いている。自立支援協議会でも当事者関係機関から栗東市の資源不足の確認はされている。

委員：財政を立て直した後では、遅いこともある。財政再建中であっても必要な支援は考えて欲しい。

事務局：財政厳しい中でも必要なこと、できることはしていく。計画の見直しの仲でご意見をいただきたい。

委員：優先順位は必要。そうした意味で、3年間の中で重点的取り組むことを示せるようにしたい。

8. その他

無

閉 会